



各位

上場会社名 ミナトエレクトロニクス株式会社  
 代表者 代表取締役社長執行役員 若山健彦  
 (コード番号 6862)  
 問合せ先責任者 執行役員管理部長 門井豊  
 (TEL 045-591-5611)

## 平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成26年5月9日(平成26年3月期決算発表時)に公表しました平成27年3月期第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,150	△26	△31	△40	△1.81
今回修正予想(B)	1,265	5	0	8	0.38
増減額(B-A)	115	31	31	48	
増減率(%)	10.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

(注)平成27年3月期第1四半期より連結財務諸表を作成しているため、前期第2四半期実績については記載しておりません。

修正の理由

平成27年3月期第2四半期累計期間の連結業績といたしましては、以下のとおりとなりました。

デバイス関連事業につきましては、前事業年度においてオートハンドラ(自動プログラミングシステム)の売上を拡大したことにより、車載メーカーに納入したオートハンドラ関連製品への変換アダプタでの売上効果が出始めており、また、業務提携先の製品(デバイス移載機)の売上も追加拡大されております。海外展開した拠点に関しましては売上拡大の効果が表れてきております。書込みサービスでは、スマートメーター及び車載メーカー関連の書込み売上が倍増しており、予定を上回る売上を計上できました。

タッチパネル関連事業につきましては、タッチパネル分野において、ATM用中型タッチパネルの売上については計画を若干下回る結果となりましたが、自動販売機向けの小型タッチパネルの売上がほぼ計画通りに推移し、大手ディスプレイメーカー向けの大型タッチパネルの売上は計画を大幅に上回る結果となりました。また、デジタルサイネージ分野において、大型ショッピングモール向けデジタルサイネージシステムや、路上工事現場用サイネージシステムなどが売上を牽引し、ほぼ予定通りの売上を上げる結果となりました。

システム開発関連事業につきましては、金融機関のシステム導入などの大型案件による景況感の改善で受注高は安定的に推移しております。要員拡大が予定より進まず売上高は前年と比べるとほぼ横ばいとなりましたが、技術者の稼働率は高い状態を維持でき、高い営業利益率となりました。

以上の結果、売上高につきましては、1,265百万円(当初予想との差異115百万円)となりました。また営業利益、経常利益につきましても売上高の増加により、それぞれ営業利益5百万円(当初予想との差異31百万円)、経常利益0.5百万円(当初予想との差異31百万円)と前回予想を上回り、四半期純利益につきましても、投資有価証券売却益10百万円を計上したことにより8百万円(当初予想との差異48百万円)となりました。

通期の連結業績見通しといたしましては、デバイス関連事業及びタッチパネル関連事業並びにシステム開発関連事業、また当連結会計年度より立ち上げております環境エレクトロニクス関連事業におきましても、当社を取り巻く環境は好転しているものの、具体的な取引の成否についてはまだまだ確定的ではない案件もありますので、当初予想を据え置くこといたします。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上